



ADRC Highlights Vol.165

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 July 2007

➤ UN/ISDR 第1回防災グローバル・プラットフォーム会合が開催、ADRC も参加・発表

2007年6月5～7日、ジュネーブの国際会議場において、国連国際防災戦略（ISDR）第1回防災グローバル・プラットフォーム（GP）会合が開催され、世界の120以上の機関・組織が参加し、出席者数は約1,400名を数えました。この会合は、兵庫行動枠組（HFA）の実施に向けた計画・行動を担保するとともに、あらゆるレベルにおける減災に向けた国際協力を推進するために開催されたものです。アジア防災センター（ADRC）からは、鈴木弘二所長、村田昌彦研究部参事（国際復興支援プラットフォーム（IRP）事務局復興専門官）、角崎悦子主任研究員、田中修平主任研究員が参加しました。

開会式では、国連の潘基文（パン・ギムン）事務総長からGP会合開催に寄せる大きな期待がビデオメッセージで流された後、議長役のMr. John Holmes 事務次長（国連人道問題担当兼緊急援助調整官）がGP会合の意義、目的などを含め開会挨拶を行いました。

引き続き行われたステートメントの部では、第一番目として兵庫県の井戸敏三知事が、阪神・淡路大震災の復興にあたっての各国からの支援に対する感謝を述べられました。



そしてHFAの取組を確実なものとしていくために、兵庫県はADRCやIRPとともに、UN/ISDRなど国連関係機関との連携による国際防災協力の推進へ貢献していくこと、さらには、阪神・淡路大震災の経験や教訓を国内外に発信していくことが、兵庫県の責務と認識していることなどを表明されました。

ADRCは、セッションワークショップ及びサイドイベントにおいて、コミュニティーベースのハザードマップ作成事例などについて発表し、会場からは地域の防災力向上におけるコミュニティーの重要性への賛同など、活発な意見交換が行われました。またADRCが招聘した上越教育大学大学院の藤岡達也教授が、日本における防災教育について発表を行いました。

GP会合の詳細につきましては、GP会合のHP (<http://www.preventionweb.net/globalplatform/>) をご参照ください。

□ IRP サイドイベント 80名以上の参加者のもと、災害復興に関して熱い議論が交わされ成功裏に終了

会議2日目に、災害からのよりよい復興にいかに関与していくかをテーマにしたサイドイベントをIRP事務局は日本国政府とISDR事務局の共催を得て開催しました。ADRC参画のもとIRPパートナー機関、国際機関、各国政府、地域機関、NGOなどから約80名の出席を得ました。

開会挨拶において、宮川眞喜雄在ジュネーブ代表部大使は、HFAの推進に向けた国際防災協力への日本の貢献とともに、日本政府や国連機関などが参画して発足したIRPが、国際地震津波フォーラムの開催、復興支援ツールの開発、SAARC



（南アジア地域協力連合）対象の地震防災プロジェクトの開始など具体的なIRPの活動成果について言及されました。多くの参加者からは、緊急対応から早期復旧復興、長期復興へスムーズに移行していく過程におけるIRPの役割に大きな期待が寄せられました。さらに、西川智内閣府参事官は、閉会挨拶にあたって、IRPは復興関係機関や復興のノウハウを必要とする人たちに橋渡しをするカタリスト的な機能や、よりよい復興に向けて必要となる知恵やノウハウを創出し共有する機能が期待されていると述べられました。そして今後そういった活動を推進し、同じ過ちを繰り返さず、持続的な開発に関係者と連携して貢献していくことが重要であるとして会議を締めくくられました。

最終日の午前の全体会合においては、UN/ISDRのテーマ別プラットフォームの重要な柱の一つであるIRPについて、アニル・シンハ事業総括官から、IRP発足以来の主な活動内容及び今後の方向性について報告が行われました。

また、ポスターセッションでは、ADRC関連資料のほか、IRPリーフレット、IRPサイドイベントのアジェンダ、神戸コミュニケをポスターサイズで掲示するとともに、IRPの出版物（Learning from Recovery、国際津波・地震フォーラム報告書、IRPリーフレット、Recovery Networkなど）を配布し、ADRC及びIRPの活動の周知に努めました。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： **Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)**

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(262)5540 FAX: 078(262)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行（予定）